

「ATLA 抗体《スクリーニング》」 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきましては測定試薬を CLIA 法による試薬に変更させていただきますので、取り急ぎご案内致します。本変更により非特異反応による偽陽性の割合が抑えられるとともに、検査所要日数の短縮が可能になりました。

誠に勝手ではございますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

対象項目

- 826 ATLA 抗体(スクリーニング)

変更内容

変更内容	新	旧
項目名称	ATLA 抗体《CLIA》	ATLA 抗体《CLEIA》
検査方法	CLIA 〔アボットジャパン〕	CLEIA 〔富士レビオ〕
基準値	陰性(-) 1.00 S/CO 未満	陰性(-) 1.0 カットオフインデックス未満
報告単位	S/CO	カットオフインデックス(C.O.I)
報告上限	∞ S/CO	45.1 C.O.I 以上
報告下限	0.00 S/CO	0.1 C.O.I 未満
桁報告数	小数 2 位、有効 3 桁	小数 1 位
所要日数	3~4 日	4~5 日

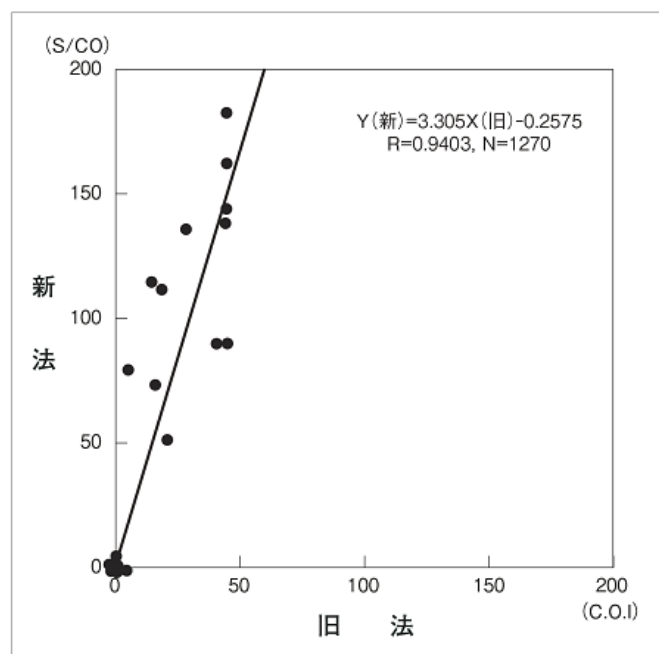
※本検査では、抗 HTLV-I 抗体および抗 HTLV-II 抗体の検出が可能です。

(型別の報告は出来ません)

実施期日

- 平成 29 年 1 月 4 日(水)受付分より

新旧二法の相関



		旧法		
		(+)	(-)	計
新法	(+)	12	1	13
	(-)	8	1249	1257
	計	20	1250	1270

陽性一致率: 60.0%(12/20)

陰性一致率: 99.9%(1249/1250)

判定一致率: 99.3%(1261/1270)

新・旧法で結果が乖離した 9 検体は確認試験 (ウエスタンブロット法)の結果、それぞれ陰性と判定されました。

※非特異反応による偽陽性と考えられます。

(LSI メディエンス検討データ)

□参考文献

出口松夫, 他: 医学と薬学 66(6): 1053-1059, 2011.

有馬直道, 他: 医学と薬学 65(5): 651-655, 2011.